

敦賀高校

◆新◆聞◆

敦商タイムズ

<発行所>
敦賀高校商業科
<編集責任者>
3年課題研究
魅力発信チーム

敦賀高校商業科・情報経理科の生徒が制作する学校新聞です
商業科・情報経理科の取り組みや学校行事、地域の魅力を伝えていきます

ワープロの部

5月17日に武生商業高校にて、ワープロの部が行われた。参加校は本校の他に福井商業、武生商工、奥越明成、坂井の計5校。各校代表3名が団体、個人で戦った。結果は団体3位（志賀瑠莉奈、田口真衣、塩谷美菜海）。個人では、塩谷美菜海が優勝を果たした。競技の流れは、3人で



ワープロの部の生徒たち
（中央）個人優勝した塩谷さん

大会に向けて3週間前から放課後にPC室に集まり、実際の競技

にコツを聞くと、「ミスをしないうこと」だという。ミスタッチは大きな時間ロスにつながるのだ。また、大会ルールでは、1文字のミスが10文字分の減点になるため、速く正確に打つことが強さの秘訣ということだ。

林穂澄、吉田庵、吉田杏が出場した。4人は約1カ月間、大量の過去問題を解くなど努力を重ねて大会に挑んだ。結果は団体3位。出題はエクセルの関数、アルゴリズム、SQL、ソフトウェアなどに関する用語や計算問題等、幅広く深い知識が総合的に問われた。今までに受験してきた情報処理検定が簡単に感じるほどの高難度だという。

ビジネススキルコンクール福井県予選 習練の成果発揮 3名が全国決める

ビジネス計算の部

5月31日、福井商業高校でビジネス計算の部（珠算・電卓）が行われた。珠算は橋本直到、河原凜空、中川沙耶、仲塚彩乃が参加。電卓は城野陽、奥村音花、金森真央、田口真衣が参加した。結果は珠算が団体2位、電卓が団体3位であった。また、珠算個人で河原凜



珠算の部の選手たち

空が全国大会出場を決めた。参加した仲塚さんは

「ミスをしない、緊張しすぎないことに気をつけて挑んだ」と話した。

簿記の部

6月14日、福井商業高校にて簿記の部が開催された。結果は団体3位（金森真央、吉田庵、田口真衣）であった。2位の福井商業とは3点差の接戦となった。また、個人では金森真央が全国大



本番を想定した練習に励む

会への切符を掴んだ。競技は1部と2部各45分間で問題を解き、合計点で順位を決める。1部

は仕訳や伝票、決算の問題が、2部は工業簿記や財務分析などの問題が出題された。大会に向けて選手たちは、過去の問題を解いたり、互いに教えあったりしながら全国を目指して励んでいた。参加生徒は「財務諸表分析の知識が活かされた」と話していた。冬の新人大会で活躍する後輩たちに期待する。

情報処理の部

5月24日に行われた情報処理大会には、3年情報経理科から川尻慶彦、

福井県高等学校商業競技大会兼全国大会福井県予選ビジネススキルコンクールが行われた。ワープロ、情報処理、ビジネス計算、簿記の各部門において、各校の代表生徒が日頃の学びの成果を発揮し競い合った。